



ダンスインストラクター検定試験
実施要項

主催 NPO法人ダンスインストラクター協会

●背景

現在、中学校の体育の学習指導要領の中に『現代的なリズムのダンス』という文言が加わり、これまでダンススタジオにて行われてきた「ストリートダンス（ヒップホップ等）」が学校教育または、地域活動、民間のスポーツクラブ等で行われることが多くなってきています。

それにより、レッスン生や受講者もこれまでのような、ダンスの好きなコアな層だけでなく、もっと気軽に、楽しく、またはスポーツとしてダンスに取り組む層が増加しています。しかし、そういった現状で増加している層に向けてのストリートダンスの指導方法は、確立されていなく、それぞれの指導者のパーソナリティーやダンススキル、指導方法に依っていることが多くみられます。

ダンスインストラクター検定試験（略称 D I C E＜ダイス＞）は、そのような現状を打破し、これから増えてくる層へのダンス指導の水準の質の向上の必要性から生まれた検定試験です。

●ダンスインストラクター検定試験

（略称 D I C E＜ダイス＞）とは？

ダンスインストラクター検定試験（略称 D I C E＜ダイス＞）は、キッズダンスや中学校体育授業、スポーツクラブでの初心者～中級者に向けたダンスの指導能力を【ダンス知識】・【ダンススキル】・【ダンス指導法】の3つの観点から測る検定試験です。

※ここでの『ダンス』とは、中学の学習指導要領にも記載のある現代的なリズムのダンスの中でもヒップホップを中心としたストリートダンスのことを言います。

●主催者

NPO 法人ダンスインストラクター協会

<http://danceinstructor.jp/>

●ダンスインストラクター検定試験

(略称 D I C E <ダイス>) の形式と構成

1. 認定について

【ダンス知識】・【ダンススキル】・【ダンス指導法】の各項目の得点の合計点によって、下記の通り段階で認定をする。

A 認定：合計点が 270 点以上で、各項目の得点が 80 点以上

- ★当協会専属ダンサーとして認定（仕事の依頼、サークル設立の協力、名刺支給）
- ★スキルアップ講習会の開催時に半額で受講可能

B 認定：合計点が 240 点以上で、各項目の得点が 70 点以上

- ★当協会準専属ダンサーとして認定（代行業務の依頼）
- ★スキルアップ講習会の開催時に半額で受講可能

C 認定：合計点が 210 点以上で、各項目の得点が 60 点以上

- ★キッズ～大人の初心者指導が可能

D 認定：合計点が 180 点以上で、各項目の得点が 50 点以上

- ★キッズ～大人の初心者指導のサポートが可能
- ★指導可能レベルに到達の為に苦手な項目の認定講習会の受講を推奨

E 認定：合計点が 180 点未満で、各項目の得点が 40 点以上

- ★指導者としてのレベルに未到達
- ★指導可能レベル到達の為に全ての認定講習会の受講を推奨

※E 認定の基準に達しない場合は、認定証の発行はありません。

※認定講習会の受講は任意です。

※スキルアップ講習会は一定のスキルのある方が対象の講習会です。

2. 試験内容について

a. **ダンス知識【100点】**—— 筆記試験（下記の内容から出題）

- ・ストリートダンスの歴史・知識（ジャンル等）
- ・指導における注意点
- ・トレーニング理論（準備運動、ストレッチ等）
- ・ビジネスマナー（保護者、施設の方との対応、一般常識等）

b. **ダンススキル【100点】**—— <基礎>と<応用>の2種類の実技試験を実施。

■基礎：（各自選択制）【60点】

ステップや技（次ページ表から2つ選択）の2種類2×8程度を試験管の前で踊り、3項目で評価

- ①「リズム感（音のとり方、グルーブ感）」
- ②アイソレーション（体をバラバラに動かす）
- ③忠実性（体を大きく動かす）

■応用：【40点】

8×2程度の提示する振りを時間内（15分程度）で覚え、試験管の前で踊り、3項目で評価

- ①ショーマンシップ（エンタメ性、パッション）
- ②センス（緩急、抑揚、動き、体幹）
- ③アレンジ力（振りの理解力、オリジナリティー、個性）

※音源は主催者指定のもので実施いたします。

C. ダンス指導法【100点】 子どもや初心者の指導を想定し、対面指導で模擬インストラクショ

ンを行う

■リズムトレーニング指導：【60%】

「ダウン」や「アップ」の解説・指導を下記の3項目で評価

例 「ダウンの2ステップ」「アップの4ステップ」「ダウンで前進」等

- ①カウント（リード、キューだし）
- ②声だし（ポイント、声の大きさ、聴き取りやすさ）、
- ③視野の広さ（周りを観れているか、臨機応変に対応できているか）

■ステップ指導（各自選択制）【40%】

ステップや技（下記表から1つ選択）の解説・指導を下記の3項目で評価

- ①指導のわかりやすさ（言い回し、適切な解説）
- ②テンポ（時間の配分）
- ③アレンジ力（個性）

※ダンス指導法は、他の受験者を生徒に見立て、模擬指導をしていただきます。そのため、自分以外の受験者が試験を実施の時には生徒役でご参加いただきます。

●実技審査選択一覧

※ダンススキル（基礎）は以下の中から2つ、ダンス指導法（ステップレクチャー）は以下の中から1つを選択してください。

① ランニングマン	② ブルックリン	③ リーボック
④ スティーブマーティン	⑤ ポップコーン	⑥ ニュージャックスィング
⑦ ロジャーラビット	⑧ チャールストン	⑨ クラブ
⑩ ツウルーブ	⑪ ラコステ	

※申込が受理された時点で、実技選択は変更できません。当日実技選択と異なるものを実施した場合、採点できません。

3. 実施について

●開催日時

- ・毎年5月と10月に実施

※詳細の日時、場所等については各試験の3か月前に当協会ホームページで発表します。

●申込受付

各試験の3か月前～2週間前までに所定の申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送またはメールにてお申込みください。

※郵送先などはホームページをご参照ください。

●検定試験料

- ・一般5,400円（学生3,240円）

※学生の方は、当日学生証を提示いただきますので必ずご持参ください。

※お申込受付後、お振込みいただく銀行口座をご連絡いたしますので、指定期日までにお振込みください。

●当日の持ち物

- ・身分証明証（運転免許証、学生証等身分を証明するもの） ・証明写真（横3cm×縦4cm）
2枚
- ・レッスン着、内履き（スニーカー）

●結果

- ・結果は試験終了後、1か月以内に受験者に郵送にてお知らせします。

●当日のタイムスケジュール

※受付時間は受験番号によって異なります。試験は下記の通り実施します。

- ①受付 ※各自でストレッチなど体を温めること
- ②受験上の注意（約15分）
- ③筆記試験（約30分）
- ④着替え・ストレッチ等の準備（約30分）
- ⑤ダンススキル試験（基礎・応用）（約60分）

※ウォーミングアップは振り写しの中で多少行いますが、開始前に各自でも行うようにしてください。

- ⑥ダンス指導法試験開始（リズムトレーニング指導・ステップ指導）（約105分）
- ⑦着替え・解散

※受付開始時間から終了まで5時間程度がかかります。集合時間は受験者の総数が確定しだいお知らせいたします。

※タイムテーブル詳細は各試験の3か月前に発表されるものをご参照ください。

